

立峯

題字 御染筆
家元 猶有齋宗匠

薬用植物センターのシャクヤク

ごあいさつ

副支部長 中曽根 勝人

新しい年を迎え梅やさくららのたよりが聞こえる季節となりました。昨年は江岑宗左没後三百五十回忌追善法要茶会、和歌山県全国大会に参会し、少しずつですが、自由な時間も取れるようになり茶の湯の興味も増してきました。

私が、同門会に入会したのは青年部が発足した年です。父が母の為に茶室を造り、その頃中曽根造園の二代目として事業を継いでいましたので、軽い気持ちで茶道も母と一緒に学びたいと思い同門会に入会しました。その後すぐに本部より副支部長の依頼があり経験が無いまま引き受け、これまで富山県開催の全国大会や五十周年のお手伝いをさせていただきました。

私は植木屋として金沢で修行をして茶庭を学びました。まずは庭の掃除からでしたが、見えないところをきれいに掃除し、道具は整理・整頓していつもきれいにとの教えを守りやり続けました。それができるようになってからやと兼六園の唐崎の松の剪定をさせてもらい感激したことを覚えています。親方や先輩方を見て覚えながら最後までやり遂げる。これは茶の湯の世界も似たところがあると思っています。お点前、特に水屋の準備、まだまだ経験不足で先生から注意されますが、めげずに稽古をしています。もう少し若い時から経験しておけばよかったです。今年古稀になります。まだ茶事の世界はわかりませんが、何か記念に残る年にしたいと思っています。それぞれの立場で表千家同門会と関わり持続可能な発展が続くように取り組んでいければと思っています。

今年は、表千家同門会富山県支部設立六十周年を迎え、九月十七日に富山県護国神社献茶式の際に記念行事を開催いたします。青年部の皆様のお力添えをお願いするとともに、お茶を楽しみながら今年一年のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

総会 懇親会

開催日 / 令和 4 年 6 月 19 日 (日)

青年部を

卒部された方々

6月19日、富山地铁ビルにて第14回定期総会と、卒部生を祝う懇親会が開かれました。総会の議案はすべて承認を頂きました。
その後、卒部生を祝う懇親会を行い、これまでの活動での思い出やこれからの活動について話し合ったりして時間を過ごしました。



- | | | |
|----|-----|----|
| 藤井 | 千重子 | さん |
| 荒木 | 浩子 | さん |
| 加藤 | あゆみ | さん |
| 辻 | 令子 | さん |
| 青木 | 志乃 | さん |
| 赤坂 | 千恵子 | さん |
| 橋本 | 明恵 | さん |
| 高田 | 泰直 | さん |
| 松原 | 靖子 | さん |
| 樋口 | 有希子 | さん |

体験会

開催日 / 令和 4 年 8 月 7 日 (日)

8月7日、富山県支部の主催で本丸亭にて開催された、茶道体験会のお手伝いをさせて頂いた頂きました。

参加者の皆さんには、まずお茶会の様子を見て頂き、それから実際に自分でお茶を点てたものを飲んでもらいました。そこで、皆さんに作法を簡単に教えるのですが、普段は、教わる事の方が多く、人に教える機会はあまりありません。そのため、初めての方に作法を教えるというのは、貴重な経験となりました。伝えることは難しいですが、自分の為にもなるのだと実感しました。

この体験会を通して、茶道の楽しさや魅力が少しでも伝わっていれば嬉しく思います。



福井県陶芸館

中曾根 春樹

開催日／令和4年9月3日(土)

去る9月、当青年部の森本英裕さんのご好意により、福井県越前町にある古窯博物館・天心堂にて茶の湯文化学会の講演を聴かせていただきました。

県内ではコロナ感染者が千人前後、また遠方ということで残念ながら少人数での参加となりましたが、東城青年部長ご夫婦と時間を共にしました。

古窯博物館には福井県陶芸館が併設されており、森本さんの案内付きで、中村昌生氏設計の茶室越知庵や庭園を特別に見学させていただきました。森本さんから庭門のこけら葺きやガルバリウム鋼板の話など、建築の専門家ならではのお話が多く聞け、特別な見学となりました。茶室は四畳半の小間に広さを感じさせる工夫が施され、細かな竹の加工技術が印象的でした。その後、両手を広げても抱えきれないほどの大壺などを見学し、素敵な風鈴を見ながら呈茶をいただきました。

講演会では、中村昌生先生と中村外二棟梁の初コラボ作品「静古庵」を森本さんが発見された経緯、茶道口前の鱗板により茶室と水屋を両立させている話など興味深く聴かせていただきました。

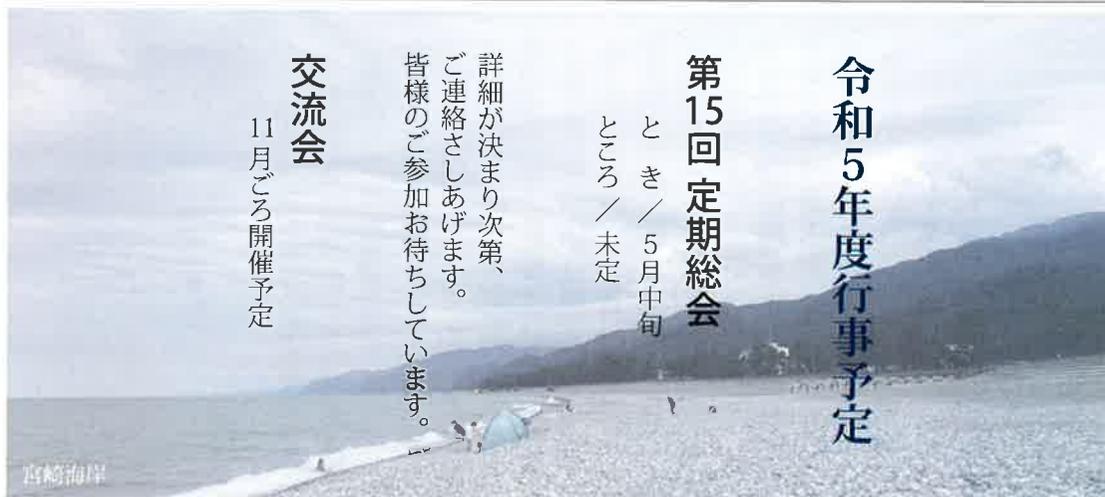
所用のため中座致しましたが、久しぶりに遠出して建築や庭に触れることができ嬉しく思いました。コロナが収束して少しずつ参加者が増えてくる日を楽しみにしています。



庭園の見学など、貴重な経験でした。



とても興味深いお話でした。



令和5年度行事予定

第15回定期総会

とき / 5月中旬
ところ / 未定

詳細が決まり次第、
ご連絡さしあげます。
皆様のご参加お待ちしております。

交流会

11月ごろ開催予定

青年部へのおさそい・入会資格

お菓子作りや、作陶、講演会、茶会など一緒に活動しませんか？
同門会富山支部の先生方、お弟子さん方のご推薦をお願いいたします。

- 満18歳から45歳までの不審菴入門者または入門を希望する方
- 表千家教授者、もしくは支部役員の推薦が受けられる方
- 表千家同門会員であることは問いません

お申し込みは、下記までお願いします。

なお、入会申込書は表千家のホームページよりダウンロードできます。
www.omotesenke.info

諸事情により退会を希望される方は、お名前・ご住所・お電話番号を記載の上、事務局までFAXでご連絡ください。退会のご連絡がない場合、翌年以降も年会費をご請求させて頂くこととなりますので、ご注意ください。なお、入会条件の上限年齢に達した場合による退会は、表千家富山青年部よりご連絡差し上げます。

青年部会費納入のお願い

会 費 1期3年 3,000円

(2022年～2025年までの3年間)

今年度からの入会費は年会費として2,000円

振込先 ゆうちょ銀行

記 号 13240

番 号 7978581

表千家富山県青年部

(振込手数料は各自ご負担下さい)

総会の際にもお預かりできます

編集後記

今回久しぶりに立峯を発行できたことをうれしく思います。ここ2年間は青年部としての活動ができていない状態でした。これからは感染対策など考えなければならぬことも多いですが、少しずつでも活動していければと思っています。

お茶を気軽に楽しめるような行事を開催していきます。

中山 綾子



発行 / 表千家富山県青年部

〒930-0005 富山市新桜町5-3 第2電気ビル1階 表千家同門会富山支部内
TEL/FAX 076-433-9585 (月・水・金 午後1時～午後3時)